

【NEWS RELEASE】

2021年2月26日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社廣杉計器の「SDG s 推進私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社廣杉計器（代表取締役：佐々木 一郎）の発行する「SDG s 推進私募債」を買受けいたしました。

「SDG s 推進私募債」は、私募債買受け時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社廣杉計器については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 環境対応部品の提供を通じたサプライチェーンにおける環境への悪影響の低減

目標 1 2 つくる責任 つかう責任	12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組に従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

② カタログ販売などを通じたディーセント・ワークの実現、女性の社会参画促進

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
	8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進私募債」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



高解像度のX線管を応用し、非破壊での透視観察が可能。品質向上を目指します。



環境負荷軽減への取組として、鉛レス・黄銅レスのエコスペーサーを開発し認定取得。



2019年社員旅行の様子。全ての従業員の働きやすい職場づくりを心がけています。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。